

本とハッピー

今月のおすすめ本

図書館支援員さんおすすめの本をご紹介します。新しい本が入った公民館図書室を、ぜひご利用ください。

公民館図書室のご案内

平日 午前8時30分～午後6時
■問合せ 教育委員会事務局 ☎24-5120

少年と犬

馳星周 / 著



傷つき、悩み、惑う人びとに寄り添っていたのは一匹の犬だった。災害が多い日本で、飼い主不明の雑種「多聞」と人間を描いた連作短編集。今年発表の第163回直木賞受賞作。

破局

遠野遥 / 著



私を阻むものは、私自身にほかならない。ラグビー、筋トレ、そして恋。ふたりの女を行き来するいびつなキャンパスライフ。新時代の虚無。今年発表の第163回芥川賞受賞作。

首里の馬

高山羽根子 / 著



この島のできる限りすべての情報を守りたい。いつか全世界の真実と接続するように。世界が変貌し続ける今、しずかな祈りが胸にせまる感動作。第163回芥川賞受賞作。

編集後記

身近な病気となった認知症と向き合いながら、自分らしく生きていくことをテーマに特集しました。取材やアンケートにご協力いただいた皆さまに感謝いたします。取材の中で印象に残ったのは、介護をしている方々が真面目に取り組まれているということでした。ですが、家族だけで背負わず、村の地域包括支援センターなど関係機関を頼っていただきたいと思います。また、地域にも理解してもらいながら無理なく見守っていただけることも、高齢化がさらに進んでいく中で大切だと感じました。(石井)

実際の紙面のみの掲載となります。